

事業所名

児童発達支援事業 おひさま

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

17 日

法人（事業所）理念		乳幼児期からの発達支援に光を当て、ひとりひとりに寄り添いながら、子どもの発達と子育てのサポートをしていきます。						
支援方針		子どもが持つ能力や可能性を引き出し、個々の発達段階に応じた支援を提供、子どもと家族が心地よく生活していけるためのアドバイス・サポートをしていきます。						
営業時間		月～金	9 時	0 分から	15 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	食事・着替え・排泄などの基本的な身辺動作を自分でできるようサポートしていきます。 ・連絡帳を通して、子どもたちひとりひとりの生活習慣を知ること、子どもたちの健康や安全に十分注意しながら支援をしていきます。また、ご家族との過ごし方などを伺い、それぞれのご家庭に合った支援を一緒に考えていきます。						
	運動・感覚	自分の体の感覚を感じ取り、姿勢を保持・必要な動作姿勢が取れるように支援します。 遊び（運動遊び・さんぽ・ボール遊び・水遊び・制作など）を通して、運動の巧緻性や手指の巧緻性を目指すとともに、ひとりひとりの好きな感覚、苦手な感覚に配慮しながら遊びなどの活動を行い、楽しみながら成長できるようにサポートしていきます。						
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚などの感覚を使い、周りの物事を理解する認知機能の発達を促します。周りの情報を理解し、整理して状況に応じた行動につなげることや、物の機能や概念（形、色、大きさ、重さ、数など）の理解を育てます。 生活場面や様々な感覚遊びを通して物の機能や概念などを認知する力を育てていきます。						
	言語コミュニケーション	毎日の行動や自分のマークを視覚的に提示し、活動の見通しをもって行動できるように支援していきます。毎日の繰り返しの中でわかることばを増やし、指示に応じてできることを増やしていきます。話しことばだけでなく、視線、指差し、サイン、カードなどを合わせて意思表示するためのコミュニケーション手段を獲得できるように支援します。 お子さんの特性や発達段階に沿った支援をしていきます。						
	人間関係社会性	身近な人との愛着関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。楽しい遊びを通し、模倣、やりとり、順番などのルールの理解などを獲得できるよう、発達段階に応じた遊び方を提供します。 子どもの好きなことや得意な事に大人がじっくりつきあうことで、人に応じる気持ちや、興味の幅を広げて、新しいことに挑戦する力を育てます。						
家族支援		送迎時のやりとりや連絡帳を通して保護者の方とのコミュニケーションを図っていきます。また定期的に面談を行い、それ以外にも日々の困りごとへの相談、就学に向けた相談なども随時行っています。			移行支援	利用しているお子さんの発達や特性を考慮しながら、こども園と事業所の利用日数を調整しています。就学に向けてスムーズに次の段階に移行できるよう、放課後等デイサービスの職員とも連携をはかっています。		
地域支援・地域連携		地域の保健・医療・こども園・学校等との連携を図り、総合的な発達の支援を行います。また、市教育委員会との連携、学校への引継ぎ等、必要に応じた情報提供を行います。			職員の質の向上	年に3回以上の研修を行い、障害特性への理解を深めたり、よりよい支援方法を学びます。また、職員会議で現在の支援方法等について検討し、お子さんや支援方法に関する情報共有を行います。		
主な行事等		利用時の発達支援に必要な各種行事を実施します。 ※遠足・プール参観・運動会・おもほり・クッキーづくり・修了式・保護者合同勉強会・避難訓練など						